

(別添4)

【羽生市】

1人1台端末の利活用に係る計画

1 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

児童生徒が理解度や認知の特性に応じて自己調整しながら、異なる方法で学んだり、興味関心に基づく個別の課題に取り組んだりする個別最適な学びが促される環境を目指します。

また、児童生徒同士がリアルタイムで情報を共有し学び合えたり、学校と学校外とをつないだりするなど、他者との協働的な学びが促される環境を目指します。

2 GIGA第1期の総括

令和2年度に児童生徒用GIGA端末、タブレットの充電保管庫、各小・中学校の主要箇所に無線LANルーターを整備しました。また、貸出用Wi-Fi ルーターを整備し、学校だけでなく家庭学習においても端末の利活用促進につなげました。これにより、GIGA第1期において、全ての児童生徒に端末が行き渡り、授業内でのICT 活用が日常的に行えるようになりました。

しかし、年数の経過とともに毎日の利用による端末の経年劣化や故障、破損の発生、そのメンテナンスや端末の管理の負担が増加しています。

今後は十分な予備機を確保するとともに、計画的な端末の更新による管理、メンテナンスの負担軽減を図れるように進めていきます。

3 1人1台端末の利活用方策

(1) 1人1台端末の積極的活用

- ・児童生徒や教員のICT活用が促進されるようICT支援員を継続的に配置し、ICT活用の各種支援や実践事例等の蓄積・情報共有を行います。
- ・端末の家庭への持ち帰りを日常化し、学習者用デジタル教科書、デジタルドリル、授業支援ソフトウェア等を校内及び家庭学習で活用します。

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの充実

- ・児童生徒一人一人が自分で学び方を選択したり、自分で調べたり、考えをまとめたり、発表・表現したりする場面などにおいて、自身の学びを広げていくために、1人1台端末を積極的に活用します。
- ・教員と児童生徒がつながる、児童生徒同士がつながることで、一緒に調べたり、考えを共有したりする場面などにおいて、自身と他者の学びを広げていくために、1人1台端末を積極的に活用します。

- 表現された意見等の情報を可視化することで個別最適な学びと協働的な学びの一体化を支援します。

(3) 学びの保障

- 1人1台端末によって、教員と児童生徒がつながること、児童生徒同士がつながることで、児童生徒の学びに伴走します。適切な資料提示や学習状況のモニタリングを通して、一人一人の状況に応じた学びを支援し保障します。
- 多様な児童生徒に対応できるように、外国籍の児童生徒や障がいのある児童生徒等に支援が行えるよう、翻訳ツールや読み上げツールを活用します。
- オンライン学習により学校と学校外をつなぎ、不登校気味の子、インフルエンザ等の感染症をはじめ、様々な事情により教室で学ぶことができない児童生徒に対しても学びを止めない学習環境を整備します。